

公募審査（採択）結果の公表

令和6年10月10日

経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部 燃料供給基盤整備課

事業名：令和6年度 脱炭素成長型経済構造移行推進対策補助金（持続可能な航空燃料（SAF）の製造・供給体制構築支援事業）

（採択事業者）

事業者名	法人番号	提案価格
一般財団法人カーボンフロンティア機構	6010405010488	336,799,998,056

（提案事業者名）

①一般財団法人カーボンフロンティア機構

②×××

※提案事業者名と下記にある事業者名の順番は対応していない

（審査委員属性）

大学教授

団体職員

団体職員

※審査委員の属性と下記にある委員の順番は対応していない

（採点結果）

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	合計
一般財団法人カーボンフロンティア機構	130	102	102	334
×××	99	110	85	294

提案事業者名	提案書の記載内容	事業の実施方法、実施スケジュールが現実的か。	実施方法等について成果を高めるための効果的な工夫が見られるか	事業の関連分野に関する知見を有しているか。	本事業を円滑に遂行するために、事業規模等に適した実施体制をとっているか。	コストパフォーマンスが優れているか。また、適正な積算が行われているか。	事業全体の企画及び立案並びに根幹に関わる執行管理部分について、委託・外注を行っているか。	業務管理費に対する委託・外注費の額の合計の割合が50%を超えていないか。超えている場合は、相当な理由があるか	賃上げの取組をしているか。	ワーク・ライフ・バランス等推進企業であるか。	合計
一般財団法人カーボンフロンティア機構	適	42	57	39	37	45	36	24	30	24	334
×××	一部否	39	52	47	34	62	34	26	0	0	294

（評価コメント）

提案事業者名	コメント
一般財団法人カーボンフロンティア機構	<ul style="list-style-type: none"> ・GX事業の遂行に関して十分に説明している。これまでの関連実績が豊富である。事業実施に関する専門的知見について、補足資料も併用して説明している。実績のある法人であり、本事業を継続的に実施する確度が高い。 ・補助事業の経験や技術面・事業面の知見の豊富なメンバーが参加する提案である。シンクタンクと監査法人に業務管理の一部を外注して業務管理体制としての層を厚くすることで、特にアドバイザー業務の充実が期待できるが、相対的に業務管理費が高額となりコストパフォーマンスが下がることが懸念される。責任の所在があいまいにならないよう補助事業者が責任をもって業務管理をしていくことが求められる。 ・概してこれまでの実績も踏まえ財政的根拠、執行体制、専門的知見等総合的観点から適当な事業者と評価する。また担当官庁との連絡、報告も強く意識されていることから加減要因にはなるものの、対象金額規模、長期にわたる期間等また新しい技術や変化する事業環境等鑑み、当該事業者が採択された場合は実行段階における情報の質、共有方法の具体的手段を吟味する必要性も相応にあるものと認識する。
×××	<ul style="list-style-type: none"> ・GX事業の遂行に関して十分に説明していない。これまでの関連実績が少ない。事業実施に関する専門的知見について説明が少ない。新規法人であり、本事業を継続的に実施できるかに不安がある。 ・技術面、事業面、補助金の執行面での経験豊富なメンバーで構成されており、適切な業務管理が期待できる。業務管理費の申請額が相対的に低く、経済的な業務管理が行われることが期待できる。業務管理の委託や外注は行わず、補助事業者自らが責任をもって業務管理を行う体制を構築しているが、事業者組織内での内部けん制など、ダブルチェックを機能させる体制とすることが望まれる。事業費（間接補助額）が大きいので、事業終了時の確定検査を行う以外にも、各年度で間接補助期間中の中間検査（中間審査）を行うなど業務管理負荷を平準化すべきではないか。 ・具体的に国内SAF事業プロジェクトに即した技術や事業性に親和性の高い推進体制、リソースを準備している点は実際の観点から評価される。また中立的観点が強く意識されている。かかる点に加えガバナンス、財政的基盤、これまでの実績など総合的観点からの評価を求めた。